学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
国語	言語文化	2	2	「新編　言語文化　改訂版」 北原保雄ほか39名（大修館書店）	新総合　図説国語（東京書籍） 明鏡国語辞典（大修館書店）

指導の重点	1　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深める。 2　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 3　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
評価の観点	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
学習の評価	1　定期考査や確認テスト、授業プリントで「知識・理解」を評価する。 2　授業中のプリント、ノート、成果物、発表等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3　授業プリントやノートの記入状況、授業態度等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4　上記の１～３で総合的に年間の評価を行う。	

学期	単元	学習内容	学習の目標
1学期	ことばと出会う	言葉の森を育てよう	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。
	文化を見つめる	アナログ的な日本の四季	・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・日本人の季節感や日本文化のあり方について、自分の考えを深める。
	表現を味わう	水かまきり	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ・オノマトペの表現効果をとらえる。
	古文に親しむ	古文への招待 いろは歌	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。
2学期	古文に親しむ	児のそら寝	・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。
	物語の広がり	伊勢物語　芥川／筒井筒	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。
	物語を受け継ぐ	羅生門	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。
3学期	漢文に親しむ	訓読のきまり 格言 再読文字	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。
	現代に生きる言葉	蛇足	・「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。